

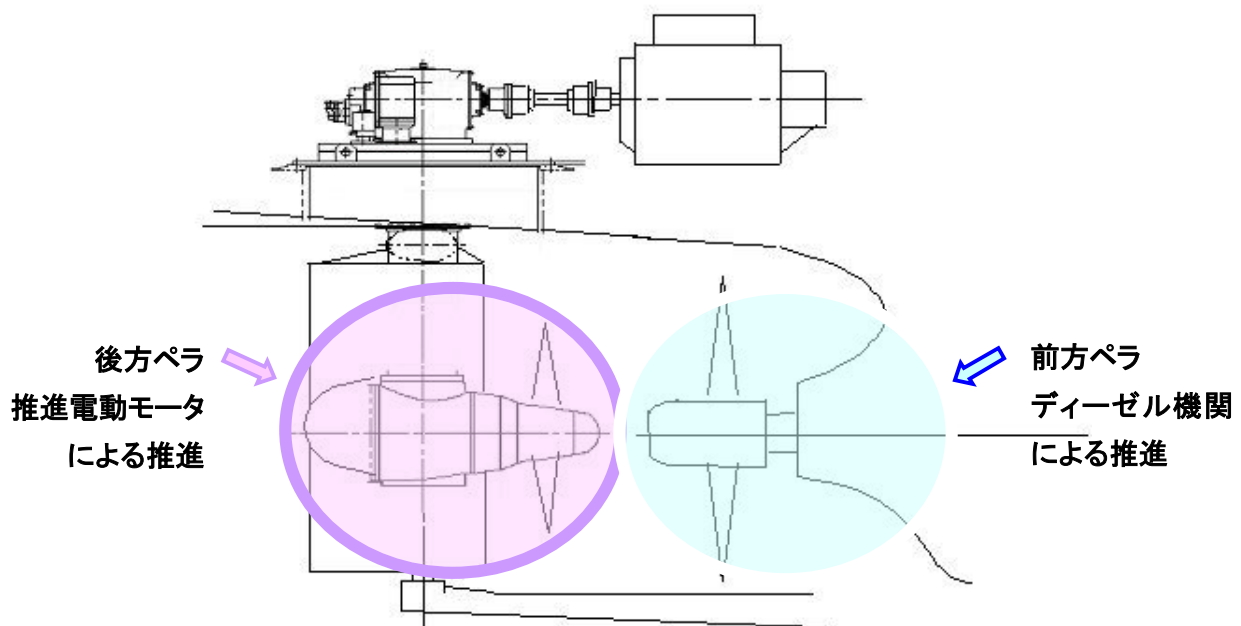
タンデム型二重反転推進装置について

7月号の会報で既にご紹介しましたが、シップ・オブ・ザ・イヤー2006の特殊船部門賞を取得した海外まき網漁船「日本丸」の「舵付二重反転式ハイブリッド推進装置」が併せてマリンエンジニアリング・オブ・ザ・イヤー2006賞に輝きました。その「舵付二重反転式ハイブリッド推進装置」について、製造事業者の新潟原動機㈱から下記情報を得ましたのでご紹介いたします。

記

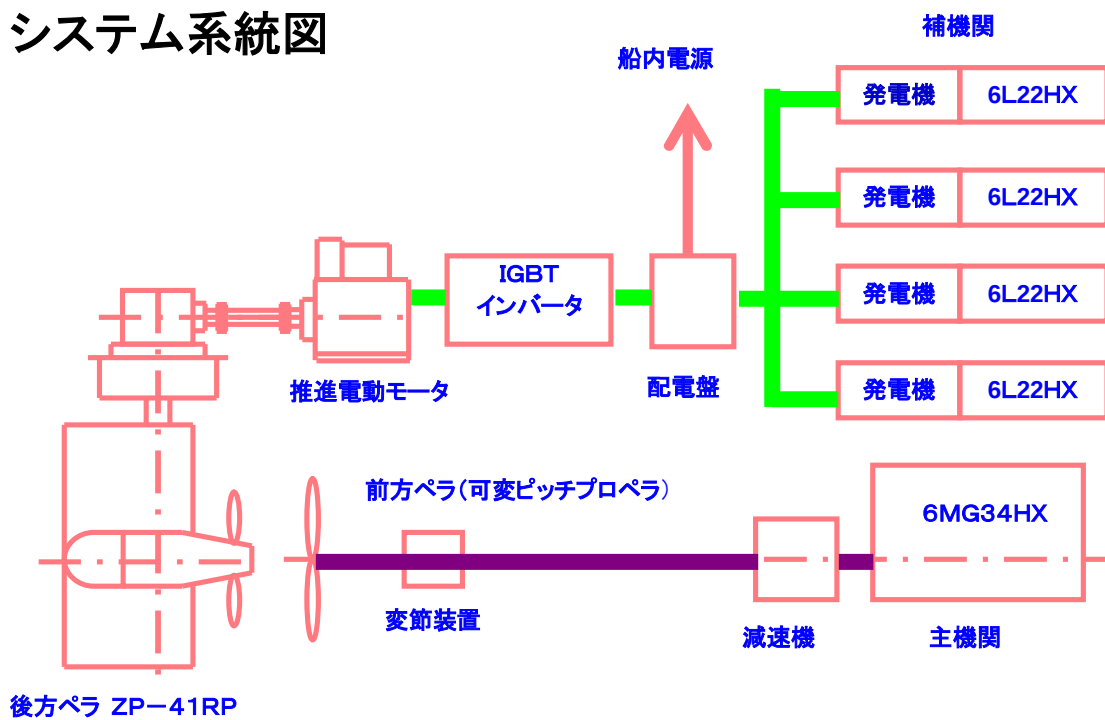
水産庁の推進する漁船構造改革モデル船「日本丸」（744総トン型海外まき網漁船）が2006年10月初めに清水港で竣工しました。同船には当社製2647kW主機関1台及び956kW発電機関4台の他に新規開発の「舵付二重反転式ハイブリッド推進装置」を搭載頂きました。

この新しいシステムは三保造船所㈱殿（静岡市）と共同開発したもので、従来式主機関駆動の可変ピッチプロペラの艀側にタンデムに電動モーター駆動式RP（ZP-41RP型）1基を配置し二重反転効果を持たせ、従来比15%の省エネ効果の他、水中放射雑音の軽減、運転性能の向上等により優れた経済性・運航性・省人化を実現しました。



推進装置をタンデム配置

システム系統図



タンデム型電機推進装置配置概要

